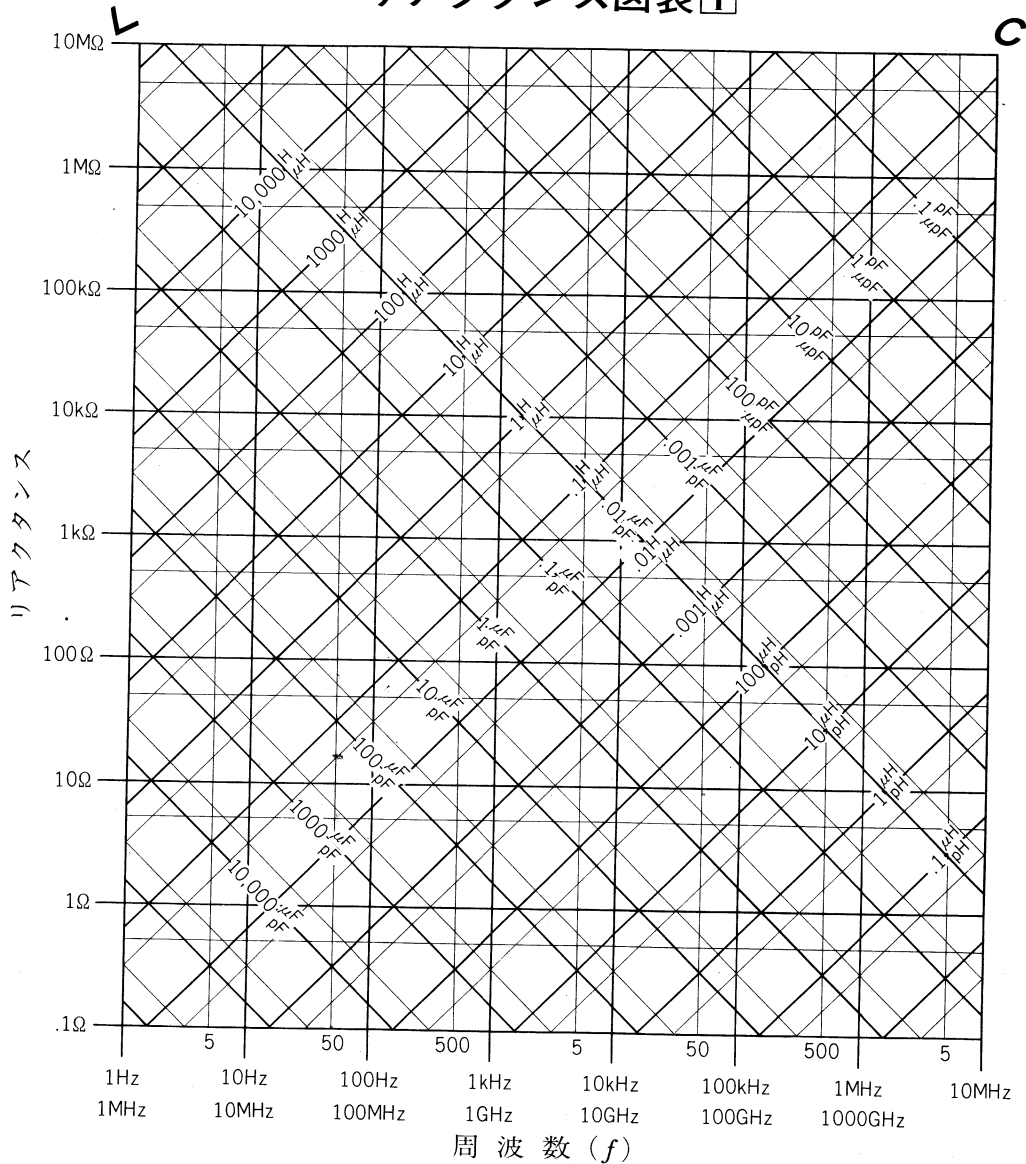


リアクタンス図表 1



この図表は、インダクタンス(コイル)の誘導リアクタンス(ωL)とコンデンサの容量リアクタンス($1/\omega C$)を求める図表である。

図表1はリアクタンスまたはインダクタンス、容量の桁を求める図表で、図表2は図表1で求めた値の精密な数値を求める図表である。これらを用いて ωL 、 $1/\omega C$ および L 、 C と共振周波数 f の関係を求めることができる。

図表の説明

図表1,2共に横軸は周波数(f)、縦軸は ωL 、 $1/\omega C$ によるリアクタンスの値(Ω)、図表中の左下より右上に引いた斜線はインダクタンス(L)の線、また左上より右下の斜線はキャパシタンス(C)の数値を表わす線である。

図表の見かた

図表1の横軸、周波数(f)の目盛およびインダクタンス、キャパシタンスの斜線には、それぞれ2種類の単位が記入されているので、次のように間違えないように使用して下さい。

- (1) 周波数1Hzより10MHzまでの範囲で使用するとき、 L および C の斜線の上側の単位を用いる。
- (2) 周波数1MHzより1000GHzまでの範囲の場合には、 L および C の斜線の下側の単位を用いる。

上記の注意を守れば、リアクタンス、共振周波数の実用計算を簡単に行なうことができます。使いかたは次の演習から理解して下さい。

■ 演習 1

高周波チョーク・コイル $L=15\mu\text{H}$ の、50MHzにおけるリアクタンス(ωL)は何オームか。